

リサイクル需要回復を視野に回収・販路拡大に注力

レアメタル・スクラップの回収・選別・加工を行うメタルドゥ（藤田國廣社長。大阪市西区京掘町）の主力工場となる神戸ポートアイランドの2nd 物流センター（神戸市中央区港島南町）が3月2日から稼働した。ニッケル系、コバルト系スクラップなどの需要増加を背景に既存工場が手狭になっていたことから建設に着手した。現在は景気後退の影響を受け各種スクラップの荷動きは従来にくらべ鈍っているものの、同社は中長期的な観点から資源リサイクル需要の回復を視野に入れ、回収ソースと販路の拡大に注力していく。2009年度はレアメタル・スクラップ取扱量を前年比20%増となる26,000tを目指す。

自動倉庫システムを導入し管理体制を強化

2nd 物流センターは、総敷地面積3,863坪、建屋1,892坪、延床面積1,990坪。総工費は約23億円。最新鋭の機械設備を備えている。特にスクラップ管理には約5千万円を投入して自動倉庫システムを導入した。従来のフレコンバッグ詰めやドラム缶ではなく、スクラップ品目ごとに自動制御されたケースに詰めることで管理体制を強化した。入出荷はケースナンバーを打ち込めば自動で出てくる仕組みになっている。そのほか、プラズマ裁断機、放射線感知ゲート、各種分析装置機などを導入し、環境に配慮してソーラーパネルなども設置した。

既存の1st 物流センター（大阪市此花区）は補助工場となり、人員の多くが2nd 物流センターへ移動となる。